

# 山館苑 だより



山館苑の応援団長  
【やまちゃん】

山館苑では、毎年、秋から冬にかけて流行り始めるインフルエンザやノロウイルスの感染防止対策に努めておりますが、今年はコロナウイルスの流行により1年を通じてマスクを外すこともなく、インフルエンザの感染予防の時期へ入りました。

今年は”**コロナウイルス**”と”**インフルエンザ**”の**同時流行(ツインデミック)**の恐れがあるそうです。同時流行した場合、問題なのが二つの感染症をどう識別するかということですが、どちらも呼吸器の感染症であり、症状がよく似ているので識別するのは難しいと言われています。

そこで、10/7 医療法人正和会 感染管理・医療安全対策管理室室長の佐々木久美子氏を講師に迎え、「活用できる感染対策マニュアルの作り方」をテーマに講習会を開催致しました。高齢者介護施設における感染対策マニュアルの作成・準備、同時流行にどう備えるか等の内容に加え、普段から疑問に思っていたことまで丁寧に教えて下さり、大変勉強になりました。



	インフルエンザ	COVID-19 (コロナウイルス)
症状の有無	ワクチン接種の有無などにより程度の差があるものの、しばしば高熱を呈する	発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障害を伴うことがある
潜伏期間	1~3日	1~14日(平均5~6日)
ウイルス排出期間	5~10日(多くは5~6日)	遺伝子は長期間検出するものの、感染力があるウイルス排出期間は10日以内
ウイルス排出のピーク	発病後2~3日後	発病1日前
重症度	多くは軽症~中等症	重症になりうる
致死率	0.1%以下	3~4%
ワクチン	使用可能だが季節毎に有効性は異なる。	開発中であるものの、現時点では有効なワクチンは存在しない

(引用：一般社団法人日本感染症学会提言 今冬のインフルエンザと COVID-19 に備えて)

## 【認知症サポーター養成講座を受講しました】

10/14日、22日に厚生労働省、認知症対策の総合戦略（新オレンジプラン）の取組みである「認知症サポーター」を受講しました。「認知症サポーター」とは、何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しい知識をもって認知症の人や家族をあたたく見守る「応援者」です。

認知症と言えば徘徊や物忘ればかりが注目されますが、それ以外のさまざまな症状、認知症の予防方法や治療法、認知症の方との接し方や介護者の気持ち等について学びました。

「認知症サポーター養成講座」を受講するだけで誰でもなることができます。受講資格はなく、特別なスキルも必要ありません。試験もないので、養成講座の受講が修了した時点で認知症サポーターを名乗ることができ、その証としてオレンジリングを受け取れます。

私たちの住む大館市では、「認知症サポーター」が一人でも多く増え、住みやすい安心な町づくりを目指しています。機会があったら受講してみたいはいかがでしょうか。



お話が面白くて、あっという間に時間が過ぎてしまいました・・・

受講後に、可愛いハチ君のバッチとオレンジリングをいただきました。

## 【山館苑 行事・生活の様子】



誕生者の方を、みんなでお祝いしています。お祝いは、される方だけでなく、お祝いしてあげる方も嬉しい気持ちになるんですね。

リハビリ体操・レクリエーションをしている様子。とても活気があるんですよ。

実習、お疲れさまでした。入居者さんより、感謝状を受け渡している様子です。



みんなで、記念写真をパチリ！  
素敵な看護師さんになって下さいね！

マスクをしていただき、市内のドライブを楽しめました。天気も良く、久々の外出で、とてもサッパリしたそうです。また、一緒に外出して楽しみましょうね！